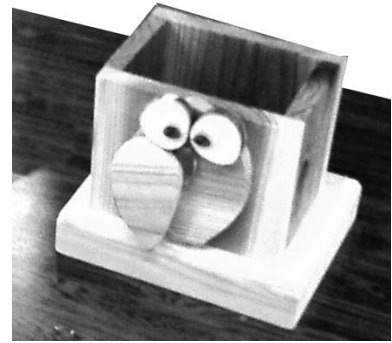


[発想の発端と作品の制作]

- 今までの「フクロウのペン立て-A」は、片羽根で目はくるくる動くが、羽根は動かなかった。これはこれで作品としては完結している。
- しかしこどもは、「動くものが好き」ということを考え、バージョンアップ作品として、羽根の動くフクロウ2題-「やじろべえ型」と「はねばし型」-を考案した。



「やじろべえ型」



- 羽根両側2枚を針金で結び、中央でワッカにして足をつける。中央くちばしの位置に当たる部分に、ビスをつけて、ワッカをに引っかける。
- 羽根の端を指ではじくと、羽根は**やじろべえ状**に左右にゆらゆら揺れる。

「はねばし型」



- 両側の羽根の中心より、少し中央よりの位置に、遊びをとったビス穴へ、ビスで止める。
 - 羽根の中央よりの端に針金穴をあけ、針金で足と両羽根を結ぶ。
 - 足を下へ指で押すごとに、**はねばしの原理**で両羽根が持ち上がる。
 - リズム良く押すと、羽根が羽ばたく。
- 目に蓄光目印シールを貼ると、暗闇でも発光し、リモコン立てにも活用できる。